


報道機関への情報提供

項目名	グローバルGAP認証取得に係る表敬訪問について
日時	令和2年1月29日(水) 11:00～11:15 (当日は、10:00～11:00の予定で「沿岸広域振興局定例記者懇談会」が釜石地区合同庁舎で開催されます。)
場所	県沿岸広域振興局(釜石地区合同庁舎1階 局長室)
内容	<p>【趣旨】</p> <p>宮古地域は県内一のブロッコリー産地であり、農業経営の改善に意欲的な若手生産者9名で構成する「宮古地域ブロッコリー生産グループ」※(代表:中村真文(田野畑村))が令和元年11月23日付けでグローバルGAPの団体認証を取得しました。それに伴い沿岸広域振興局長への表敬訪問を行いますので、当日の取材についてよろしくお願ひします。</p> <p>【表敬訪問日程】</p> <p>1 日時 令和2年1月29日(水) 11:00～11:15</p> <p>2 場所 県沿岸広域振興局(釜石地区合同庁舎1階 局長室)</p> <p>3 訪問者 (生産者) 吉濱孝明、久保田智治 (農協) JA新いわて営農経済部営農企画課、宮古営農経済センター 4名 ※当日の都合により変更になる場合があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>※宮古地域ブロッコリー生産グループ JA新いわて野菜生産部会ブロッコリー専門部23名のうち、有志9名が平成31年4月から活動</p><p>[9名の内訳]</p><ul style="list-style-type: none">・ 宮古市: 5名、田野畑村: 2名、岩泉町: 2名・ 20代: 1名、30代: 6名、40代2名</div> 

(様式1)

	<p><GAPとは> Good Agricultural Practice の略で、日本語では「良い農業のやり方」または「農業生産工程管理」と訳され、農産物の安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための取組のことで、「グローバルGAP」は国際的な認証規格です。</p> <p><グローバルGAP 団体認に向けた組織体制> 新しいわて農協が団体事務局となり、JA 全中、JA 全農いわて、県農業普及技術課、宮古農業改良普及センターが一体となって認証取得に向けた生産者の取組みを支援。「宮古地域ブロッコリー生産グループ」は、ブロッコリーで認証取得し、宮古地域の生産量の約8割を占めます。</p> <p>4 特徴</p> <p>① 全品目を通じたグローバルGAPの認証取得は県内では、「かさい農産(一関市)」、「イオン農場花巻(花巻市)」に続き3事例目。ブロッコリーでの団体認証取得は全国でも2事例(JA 北ひびき(北海道士別市)、野菜くらぶ(群馬県利根郡))のみとなっています。</p> <p>② 宮古地域のブロッコリー生産は県内一で、県内生産量の40%以上を占めています。</p> <p>③ 平成31年1月頃からGAPに関する研修会や農場の点検・改善作業を進めて、約200以上の審査項目をクリアしました。</p>
<p>担当部署 担当者 職・ 氏名 (照会先)</p>	<p>宮古農業改良普及センター 産地育成課 技術主幹兼産地育成課長 三浦晃弘、上席農業普及員 佐々木 満 (電話：0193-64-2220 内線 303、304 FAX：0193-64-5631) 《当日の取材に関する問合せ先》 農林部 農林調整課長 澤口勝彦 (電話：0193-25-2704 内線 221)</p>